



スギ花粉治療の決め手『舌下免疫療法』をお勧めします

坂本民主診療所 所長 今村 浩

「新型コロナ」がやや下火になったと思ったら、つらい花粉症の季節が来ました。滋賀県は、今年は例年より少ないとの予測ですが、それでも花粉症の人にはつらいことには変わりありません。

そもそも花粉症は、スギやヒノキなどの花粉に抗体のある人が、再び花粉にさらされることでアレルギー反応を発現する状態を指します。ところが、花粉症を引き起こす原因となる抗原に持続的にさらされ続けていると、やがて抗原に反応しなくなる現象が現れます。この状態を免疫寛容と呼びます。有名なのは「漆職人が漆にかぶれないのは、毎日漆を筆で少しずつなめているから」と言われます。この免疫寛容の状態に誘導する治療法が「アレルゲン免疫療法」です。以前は、抗原の投与方法は皮下注射（皮下免疫療法）だけでしたが、最近は「舌下免疫療法」と言う、抗原の入った薬を舌の下に1分間溶して保持し飲み込む治療法が登場し、手軽に行えるようになりました。坂本民主診療所で2019年シーズン後から治療を始められた方々が、今年2年目を迎え、本当に症状が楽になったと喜んでおられます。

この治療法の特徴をまとめると以下の通りです。

◆ 花粉シーズン中は治療を開始できず、シーズン終了後（6月頃）から開始します。

◆ 基本3年間、毎日舌下にスギ抗原の入った薬を1錠溶かして、タイマーを見ながら1分間保持し、その後飲み込むのが原則です。一年過ぎたあたりから効果を実感できて、2年間続けられたら8割以上で効果があるようです。毎日と言っても1日や2日忘れてもかまいません。

◆ 対象は5才以上の子どもから投与できます。また、薬は常温保存可能なので、旅行に持っていくこともできます。

◆ 3年目くらいで寛解状態になれば、薬は一旦止まります。但し、3～4年後に再発してくれば、再開となります。

◆ ヒノキ花粉にたいする薬はなく、今後も開発予定はないようです。しかし、スギとヒノキは交差免疫があり、スギ花粉が軽快すると、ヒノキ花粉も軽快する傾向があります。

治療は保険適用され、薬は1錠144円（3割負担で約40円）です。花粉で辛くて仕方がない方は是非相談してみてください。お勧めです。

●診療体制変更のお知らせ

水曜午前（2診）：坂本 愛医師（4/7～開始）
木曜午前（2診）：野浦 素医師（3/25で終了）

●健康保険証提示に関するお願い

今年3月からマイナンバーカードの健康保険証としての利用（オンライン資格確認）が順次開始されますが、当院では当分の間システム導入の予定がないため、マイナンバーカードを保険証としてご利用いただけません。従来どおり、毎回の受診時に健康保険証のご持参、提示をよろしくお願いいたします。

●新型コロナウイルス予防接種について

3/1「広報おつ」でワクチン接種券を65歳以上の高齢者から3月下旬以降に順次発送予定とありますが、当院や各医療機関で個別接種ができるかは正式な情報が届いていません（3/4現在）。

詳細が判明次第、当院ホームページや待合掲示にてお知らせします。

●往診車の運転手急募！

金曜午前往診の運転手（軽自動車）を募集しています。
詳しくは別紙をご覧ください。



2月の太陽光発電量 954kwh

CO2削減量… 482Kg
杉の木の年間吸収量 約34本分